

【検証授業Ⅲ】

尾張旭市立城山小学校 6年

1 単元 明治の国づくりを進めた人々

2 単元について

本学級の児童は、積極的で自分の考えや意見を積極的に発言する児童が多数おり、発言することに臆することがない。そこで、グループでの学び合い学習を取り入れ、社会的事象に対して根拠に基づいて自分の考えもち、その考えを友達に表現したり、教え合ったりできる児童を育てたい。また、国語科で学習した討論を活用しながら、社会的な見方や考え方を身に付けさせたい。

本単元では、黒船来航、明治維新、文明開化などの歴史的事象を取り上げ、調べる活動を通して、明治の新しい政府が、富国強兵、殖産興業など欧米諸国に負けない国づくりを目指して近代化を進めたことやそこに関わる人々の思いを考えさせる。また、板垣退助や伊藤博文を調べる中で文明開化とともに、人々の行動にも変化が表れ、地租改正や徴兵令等が出た不満を武力による反乱から自由民権運動へと変化し、国会開設をもたらしたことや大日本帝国憲法が天皇に権力を集中させた意味についても考えさせていく。

本単元は、変化の激しい時代を扱っているが、幕末と明治維新後、諸外国と日本、政府と自由民権派など対になる資料を比較して提示することにより、児童が自ら問題を見付け、追究しようとする意欲を高めたい。また、内容を前半と後半に分け、前半のまとめとして第5時に明治政府の改革について、メリットとデメリットの討論を行い、学習してきた歴史的事象や人物についての理解を深めたい。さらに、後半ではグループでの協同学習を取り入れ、二つの内容で分けた課題グループによって調べて分かったことや考えたことを自分の言葉でまとめ、次に学び合いグループでそれを伝え合う活動を取り入れ、立場を変えた見方や考え方を育みたい。学び合いグループでは、グループ内の友達に学んだことを伝えるという必然性と責任感から学習意欲につなげ、分かりやすくまとめ、表現させたい。

3 単元目標と評価規準

(1) 単元目標

黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布とそれらに関わる人物の働きなどから学習問題を設定し、絵図や年表その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、明治政府が欧米の文化を取り入れながら廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代化を進めたことやそれらに関わる人物やその働き、また、その政府に反対する人々の願いや行動について思考・判断したことを適切に表現することができる。

(2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評価規準	黒船の来航とその後の世の中の変化や明治維新に関わる人物の働きなどに関心をもち、意欲的に調べようとしている。	①明治維新、文明開化から学習問題を見だし、政府の行ったことを予想して考えている。 ②欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策の意図、またそれに反対する人々の願いについて判断し、適切に表現している。	①黒船来航、明治維新、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法の発布について、資料を活用して読み取っている。 ②明治政府の政策や政府に反対する人々の行動について必要な情報を集めて読み取り、ワークシートにまとめている。	①黒船来航、明治維新、文明開化における人々の働きについて、資料等を基に理解している。 ②我が国が欧米の文化を取り入れつつ、廃藩置県や四民平等などの諸改革などを行い、近代化を進めたことを理解している。

(3) 単元計画と評価計画 (11 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
気付く 【斉】 ①②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治時代の日本橋近くの絵図と江戸時代の同じ場所の絵図の比較し、暮らしの様子がどのように変わったのかを考える。 ○ 文明開化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・服装の変化, 教育内容の変化 ・江戸時代と明治時代の違い ・郵便, 鉄道, 新聞, 電報などの新しい制度や文化 	<p>関① 江戸時代と明治時代の違いを見付け, それらの違いに興味をもち, その理由を考えている。</p> <p>思① 明治維新がもたらした文明開化から学習問題を見だし, 明治政府の行ったことを予想し, 考えて表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代と明治時代の違いを見付け, 更には急激な変化の理由にまで興味をもち, その理由を考えている。 ・明治維新がもたらした文明開化から学習問題を見だし, 明治政府の行ったことを急激な西洋化と関連付けて予想し, 考えて表現している。
	明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか。		
調べる I 【個】 【斉】 ③ 【ペア】 【斉】 ④ 【グ】 ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒船の来航から倒幕までの様子について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・黒船の来航によって開国した。 ・幕府への不満が高まり幕府が倒れた。 ・徳川慶喜が政権を朝廷に返し, 明治新政府が誕生した。 	<p>知① 黒船来航により我が国が混乱の中で開国し, 若い武士たちが中心となって江戸幕府を倒したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒船来航により結ばれた日米修好通商条約が国内生活を混乱させ, 江戸幕府より強い政府が必要と考えた若い武士たちが中心となって明治維新を進めたことを理解している。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 欧米に学んだ大久保利通らが目指した国づくりについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地租改正・殖産興業・徴兵令を推進し改革を進めたこと 	<p>知② 我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 富国強兵, 廃藩置県, 四民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 富国強兵, 廃藩置県, 四民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことを理解し, そのことが財政安定を第一に目指していたことを理解している。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治政府の改革について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・明治の改革のメリットをまとめる。 ・デメリットについて討論する。 	<p>思② 欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策について, いくつかの政策の良い点と悪い点に関連付けて自分の意見を表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策だけでなく, その意図や急激な改革による人々の不満についても考え, いくつかの政策の良い点と悪い点に関連付けて自分の意見を表現している。
調べる II	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題A・Bの選択で調べる。 <ul style="list-style-type: none"> A 政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・武力による反乱から言論による主張へ変わっていったこと ・板垣退助らと自由民権運動 	<p>技① 政府に不満をもつ人々の行動について, 資料を活用して調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政府に不満をもつ人々の行動が, 反乱から言論へと変化していったことについて, 国会開設を求める板垣退助らの願いや行動とともに資料を活用して調べている。

【課題グ】 ⑥ ⑦	<p>B 大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色，議会と選挙制度について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文と大日本帝国憲法 ・国会の仕組み(貴族院と衆議院の二院制) ・選挙権をもつ人は，まだ国民の一部だったこと 	<p>技① 大日本帝国憲法の特色について，天皇主権や選挙制度を中心に資料を活用して調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の特色について，天皇に強い権限があることや選挙権に制限があることなどの特徴について資料を活用して調べている。
調べるⅡ	<p>○ 調べて分かったことを伝え合う。</p> <p>A 政府の改革に不満をもつ人々の行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武力による反乱から言論による主張へ変わっていったこと ・板垣退助らと自由民権運動 	<p>技② 政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことや国会の開設を唱えた理由などについて分かったことを説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことを，国会の開設を求める人々の願いや行動と関連付けて説明している。
【学び合いグ】 ⑧ ⑨	<p>B 大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色，議会と選挙制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法では，主権は天皇にあり，強い権限が与えられたこと ・国会の仕組み(貴族院と衆議院の二院制) ・選挙権をもつ人は，まだ国民の一部だったこと 	<p>技② 大日本帝国憲法の特色を，議会や選挙制度を関連付けて説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の特徴について，伊藤博文がどんな思いでつくったのかにも触れながら，議会や選挙制度と関連付けて説明している。
まとめる 【個】 ⑩ 【斉】 ⑪	<p>○ 学習問題についてのまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考える。 ・政府の立場と国民の立場を比較しながら考えをまとめる。 <p>○ 明治政府が行った改革の見直しについて，どのような国づくりを目指したのか話し合い，まとめる。</p>	<p>思② 明治政府が進めたいくつかの政策について，いくつかを取り上げ，それらを関連付けながら自分の考えを表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めたいくつかの政策について，それらを関連付けながら政府の立場と国民の立場から捉えて自分の考えを表現している。

【斉】一斉学習 【個】個別学習 【ペア】ペア学習 【グ】グループ学習

4 指導実践事例 「明治政府が目指した国づくりのまとめ」【一斉】⑩

(1) 目標

学制，四民平等，富国強兵，地租改正，殖産興業，徴兵令，大日本帝国憲法などの明治の改革について，根拠を基にメリットとデメリットを述べながら交流することによりいっそう考えを深め，更に資料を基に考え直し，自分の言葉で表現することができる。

(2) 準備

教師 メリット・デメリットカード 学習問題カード
 児童 学習資料プリント

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
2	1 本時の学習課題をつかむ。	・課題を想起させるように諸政策を示す。
	明治政府の行った国づくりについて、見直すべきことはどんなことでしょうか。	
23	2 明治政府の政策について話し合う。 (富国強兵) ・地租改正によって国は豊かになったが国民は負担が増えて苦しんでいた。 ・強い軍隊をつくったので、国が安定した。西南戦争もすぐに解決した。 (四民平等) ・政府が積極的に差別をなくそうとしなかったため、平等にならなかった。 ・身分制度がなくなり学校には平等に通えるようになったので、平等な社会への第一歩になった。 (大日本帝国憲法) ・アジアで一番早く憲法に基づいて政治を行う国なり、欧米諸国に追いつくことができた。 ・天皇が中心で国民の意見が取り入れられなかった。 ・選挙が始まったが、一部のしか参加できず民主主義とは言えない。	・話し合うときには、資料を基に発言するように確認する。 ・自分とは違う意見が出たときにワークシートに書かせる。 ・前時のワークシートを確認してメリット、デメリットカードを作らせておく。 ・児童が明治政府の政策を違う立場から捉えられるように発言の指名は挙手だけでなく、意図的、計画的に行う。 ・政策案の検討にはペア学習を取り入れ、交流しながら深まるようにする。 ・富国と強兵に分けて説明し政策の目的を明確にする。 ・差別に苦しめられてきた人々について補足説明する。 ・四民平等と教育との関係を確認する。 ・大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色を振り返らせる。
10	3 自分と違う意見について納得できたものを発表する。 ・軍を強くすることにお金を使うことに反対だったけれど、政府の強い軍が西南戦争を抑えることで、国民の行動が武力から言論へと変わっていったことを聞いて、賛成になった。	・自分と違う意見でも、資料を基にして納得できているものを発表させる。 ・どんな政策でもメリットとデメリットは必ずあると言うことを押さえる。 ・国民にとっては苦しい政策もあったが政府としては外国に追いつき不平等条約をなくすことが目的だったことを押さえる。
10	4 単元のまとめ「明治政府はどのように国づくりを進めたのか」について、自分の言葉で書く。 ・外国との不平等条約を結んでしまったことから、外国に負けない国づくりを目指し、富国強兵では、工業を盛んにして軍隊を強くしたが、国民には負担が大きかった。	・自分とは違う意見の根拠となる資料をもう一度見直して考えを深めさせる。 ・政策名と「政府」「国民」「外国」などのキーワードを使ってまとめさせる。 ・立場を変えて捉えるために自分とは違う意見を入れてまとめることを確認する。

(4) 評価

討論を通して、政府の政策を見直し、よりいっそう考えを深め、更に資料や友達の見解を基に考え直し、政策名と「政府」「国民」「外国」などのキーワードを使ってまとめ、自分の言葉で表現することができたかについて、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

5 実践の流れ

(1) 気付く（問題設定）「江戸時代と明治時代の様子を比べよう」①②【一斉】

「江戸時代の日本橋周辺」と「明治時代の日本橋周辺」の様子を描いた絵図を提示して、人や町の変容に着目させ、比較させた。児童は、人や町の様子、その他に気付いたことをワークシート①（資料1）に書き出した後、ペアになって話し合った。本学級ではペア学習を「相談タイム」と名付け、日頃から隣席の児童と相談するペア学習を取り入れている。考えに迷いがあるときには、児童から「相談タイム」を要求することもある。江戸時代と明治時代の生活の様子の違いについて、友達と相談して自分が気付かなかったところに気付き、児童は「あ、本当だ」とか「ある、ある」などと言いながら、食い入るように学習プリントA（p.17 別資料）の二つの絵図を見比べていた（資料2）。

次に、ワークシートに書いた気付きを発表した。人物の様子について、洋服、靴、傘、髪型などが変化し、武士のシンボルである刀がなくなっていることから、この頃から武士がいなくなったのではないかという話し合いになった。町の様子については、馬車や街灯、ガラス窓、ベランダなどの新しい進んだ技術や西洋風の街並みに変化していることに気付いた。また、家族連れで歩く様子や夫婦で歩く様子から、家族の関係も変わったのではないかと考える児童も出てきた。多くの児童が気付きを発表したので、板書したことや自分が見付けたことから何か共通性や全体を見て感じるのではないかと尋ねた。すると、「洋風のものが多い」「自由な感じがする」という意見や、「今の自分たちの生活にかなり近付いている」という意見が出てきた。

資料1 ワークシート①「明治時代の東京の様子」



●上の江戸を描いた絵と資料集の表紙の明治の東京の絵と比べて、人や町の変化を調べて世の中がどのように変わったのか書こう。

1800年	2000年	変わったこと(他)
かさをさしている	ガラスのまどがある	外国の文化を取り入れている
洋服やドレスを着ている	ランタがある(街灯)	門は木ではなく鉄になっている
着ている服の色があざやか	かわらぬてい、建物がある	えんとう、ベランダがある
皮ごつをはいている	前はなかった(洋風の建物) 黒い建物がある	
人力車、馬車にのっている	はたがにのっている	
まげなし、新聞紙にのっている	井戸ができた	
刀なし 警官	道が広くなっている	
子どもがいる	石がき	

資料2 江戸時代と明治時代の生活様式を比較した授業



明治時代のよりの変化

1800年	30年	50年	80年	100年	2000年	2000年
江戸時代の江戸の様子						
					○人	○町
					洋服・日かさ 皮ごつ・人力車 新聞・まげなし 刀なし 警官 子どもがいる	○変わること 家の屋根の仕・庭に植物 外国文化と 街灯・洋風 ガラスはた 井戸・石がき 道が広い

最後には、「30年間でこんなに変わったのだから政府も国民もきっとすごく忙しかったと思う」「西洋風になったのは、外国人が指導者になって教えてくれたのだと思う」という予想を立てた。

第2時では、第1時で見付けたことを文明開化としてまとめた。そして、明治政府の政策の一つとして四民平等を取り上げた。第1時で武士がいなくなっていることに驚いた児童は、「武士がいなくなった理由が分かった」と書いていた。

また、学習プリントB（p.17 別資料）を使って江戸時代の身分制度と比較したが、農民が平民とな

料7)に自分の意見を書いた。ここには、自分の考えとは違う意見も書き留めておけるようにした。

資料7 ワークシート⑤「政府の改革に賛成か反対か」

学習問題「明治の改革にあなたは賛成ですか反対ですか。」

●次の言葉を使って答えよう。
強い・文化・外国・開国・工業・平等な条約・近代国家

江戸幕府は(開国)して、外国と(不平等な条約)を結んでしまった。
開国したことにより外国の発達した(文化)や(工業)を知り、日本も進んだ(近代国家)にしたいと思う人たちが出てきた。

明治政府は(外国)に負けない、(強い)国づくりをめざした。

●右の資料を見て考えよう。
明治政府が強い国づくりをめざした理由は、何でしょうか。

日本に不利で不平等な条約だわ。

外国と結んだ不平等な条約	
治外法権を認める	関税自主権がない
↓	↓
外国人がおこした事件を日本の法律でさげない	国内の製品より安い外国製品が入ってくるのをめられない
↓	↓
外国人に有利な判決が下されやすい	日本の産業が発展しない

●明治の改革のメリット(良かったこと)とデメリット(良くなかったこと)を話し合おう。

改革	メリット	デメリット
廃藩置縣	政府が任命した役人ばかりになり、地方の自治がなくなり日本中に広まる。全国に日本行政を統一して国を統一する。	地方のことはよく分からず、地方の発展がよくなる。地方の発展がよくなる。
富国強兵	工業をこまめに、お金をたくさん入れて、軍費を増やして武器を造る。軍備を整える。	お金が少なくて、国が弱くなる。機械が入るお金が少なくなる。
殖産興業	日本の工業を近代化させて、産業を殖産をやる。船も国産にする。外国に負けない。技術も進める。	殖産がなかったら、分らない。
地租改正	税のやりかたを改め、国の収入を増やせる。税金のことも。	重税負担で苦しむ町人達が増える。増えた。
徴兵令	20才になった男子が軍隊に入ることになり、国家を強くした。	軍人がいなくなる。農業をやらなくなる。分らない。
四民平等	町人たちに所帯はなくなり、士族もなくなり、差別がなくなり、職業も自由になる。	政治がわるい。差別が多くなる。

●調べたメリットとデメリットを読んで、自分の意見を書こう。
(理由は具体的な政策名とそのメリットもデメリットも書くことと説得力があるよ)

私は、明治の改革には、賛成です。なぜなら、少しの間、苦しいでもいち早く、外国の法に「不平等な条約」を取り消すことが一番だと思うからです。そう思った政策は地租改正です。メリットで、重い負担に苦しむ町人達によるいらいが起ることは、減らしたけど、それより国の収入が安定することの方が大事だと思うから私は、明治の改革に賛成です。

●あなたは明治の改革についてあなたは賛成ですか？反対ですか？
私は、明治の改革には、賛成・反対です。(どちらかに丸をつけましょう)

なぜなら、石炭は「開国」して「不平等な条約」という外国人に有利な条約ができて、
そんなものをいち早くなくしてしまえばいいからなくさないけど、地租改正で多くの税金を収めさせて、国民のことはよくわかって、いろいろなことをやると、分らない。
思えば、少しだけでも国民の負担を軽くしてあげたいと思う。

●友達の見解で自分と違う意見があったら書こう。(次の授業で聞いてみよう)

反対改革は苦しんでいる人たちにとってはあまり変化がない。
賛成不平等な条約をなくすために強い国が必要だから、徴兵令と強い軍隊を

まず、ワークシート⑤に各政策についてのメリットとデメリットをグループで調べて書き込んだ。教科書、資料集、資料プリント集、授業メモなど、何を参考資料として考えたのかが分かるようにした。また、推測して自分の意見を書く場合には、根拠がない意見だと分かるように示しておくように指導した。すると、「平等にならなかった四民平等にメリットが一つも思い浮かばない」という児童も、友達と資料を調べながら職業選択の自由や居住場所の自由ができたことに気付き、理解を深めていった。その中で、資料を探したが見付からなかった児童の中には、推測であるが、「殖産興業でできた工場では、きっと安い給料で長い時間働かされていたのではないのか」「3年間の兵役があることによって労働力の低下を招いたのではないのか」という考えをもつ児童もいた。

(6) 調べるⅡ(問題追究) ⑥⑦【課題グループ】Aグループ「政府の改革に不満をもつ人々の行動」 Bグループ「大日本帝国憲法の特徴、議会と選挙制度」

10人のグループを作り、その中を更に5人ずつに分けてグループを作り、片方がAグループ、もう片方がBグループとして課題を追究した。その際の補足資料として、憲法草案についての学習プリントE(p.18別資料)を用意した。また、学習プリントF(p.18別資料)では、板垣退助と伊藤博文を取り上げ、二人の行動や思いを比較し、国民の立場と政府の立場の両面から考えられるようにした。

ワークシート⑥⑦(p.9資料8・9)では、左に基本的な用語や人物の特徴等について、教科書を基に個人で調べ、その後グループで確認を行うようにした。また、右には、調べたことを基にその内容について、友達に分かりやすく説明できるようにするためのヒントを掲載したシートを使用した。それは、キーワードと歴史の流れの一部分を矢印で示しただけのものであったが、児童は、そのワークシートをヒントに、矢印が示していない部分についてもグループで話し合いながら理解を深め、付け加えてシートに書き込むことができた。

この追究活動について、児童の多くは、「ワークシート(p.9資料8・9)に書き込むと調べたこと理由が分かる」「友達に聞きやすいし、分かるまで教えてくれる」「人に伝えることには責任を感じるからしっかりとやる」「分からないことは聞いて、後は自分で考えることができる」と、熱心に考えたり学び合ったりしていた。

資料8 ワークシート⑥「政府に不満をもつ人々の行動」

学習問題 「政府の改革に不満をもつ人々のはどのような行動をとったのですか。」

●政府に不満を持つ人々の行動について調べよう

(せいなんせんそう) 西南戦争	(西郷 隆盛)を中心に、生活に不満をもつ(士族)による(反乱)が正になる。が、(政府の軍隊)によって、しずめられた。
(じゆうみんけんどう) 自由民権運動	明治維新の改革はすべて(政府)が中心となっており、国民は(政府)の方針に従うものとされた。国民は、社会で起きた問題を解決するために自分たちも(政治)に参加することを要求した。
(ちちぶじけん) 秩父事件	埼玉県の秩父地方の(農民3000人)が、「借金のしはらい時期を先にのばすこと、村にはらう(税金)を安くすること」を求めて、今の秩父市を占領した。事件に加わった人の中には(自由民権)の考え方を持つ人がいた。

●板垣退助について調べよう

(いたがきていすけ) 板垣退助	・もともと(政府)の指導者だった。 ・薩摩藩や長州藩の人たちだけでなく、広く(国民の意見)を聞いて、政治にいかすためにも(国会(議院))を開くべきだ。
--------------------	--

① 政府への不満 → 士族の反乱 (西南戦争)

② 自由民権運動 → 国会を開いて! (議院)

③ 自由民権運動 → 全国に広がる → 政府の対応 → 国会を開くことを約束

④ 自由民権運動 → 自由民権運動の高まり → 政府 → 大日本帝国憲法

(政府)に不満を持つ人々の行動が(武力)から(言論)にかわっていき、板垣退助らのおこした(自由民権)運動は、(全国)に広がり政府は(国会を開くこと)を約束することになった。

投票の感想
開国により国民は苦しむけど元武士たちは不満を持ちました。そして反乱を起こり、政府は軍艦を派遣して来ましたが、国民は自由民権運動という私利私利で政治に参加したい、という運動をして政府は国民を開くことを許した。よ、自由民権運動は国民が参加自由権を主張するのだから、自由民権運動は自由を主張することを知った。

資料9 ワークシート⑦「大日本帝国憲法」

●大日本帝国憲法について調べよう

第1条	日本は、永久に続く同じ家系の(天皇)が治める。
第3条	天皇は(神)のようなうといものである。
第4条	(天皇)は国の元首であり、(国)や(国民)を治める権限をもつ。
第5条	天皇は、(議会)の協力で法律をつくる。
第11条	天皇が(陸海軍)を統率する。
第29条	国民は、(法律の範圍)なかで、(言論)、出版、集会、結社の自由をもつ。

●第一回総選挙について調べよう

	選挙人(投票する人)	被選挙人(選挙に出る人)
年齢	25才以上	30才以上
性別	男子のみ	男子のみ
納税額	15円以上	15円以上

国民の(100人)に一人しか選挙権を持つ人がいなかった。

自由民権運動の高まり → 政府 → 大日本帝国憲法

自由民権運動の高まり → 国会開設

自由民権運動の高まり → 板垣退助 → 国会を開くことを主張

自由民権運動の高まり → 自由民権運動 → 国民 → 大日本帝国憲法

自由民権運動の高まり → 自由民権運動 → 国民 → 選挙権

伊藤博文は、どのような思いをもって大日本帝国憲法を作ったのでしょうか。

伊藤博文は(皇室)の権力が強い(ドイツ憲法)を参考に(大日本帝国憲法)をつくらせたが、市民権のつくった憲法とくらべると、(市民が基本的な人権)について(大日本帝国憲法)は(遅れていた)。

投票の感想
自由民権運動によって、政府は憲法を国会を開くことを認めた。国民は政府を開くことを認め、それによって国民は自分たちの政治に参加したい、という運動をして政府は国民を開くことを許した。よ、自由民権運動は国民が参加自由権を主張するのだから、自由民権運動は自由を主張することを知った。

(7) 調べるⅡ (問題追究) 【学び合いグループ】

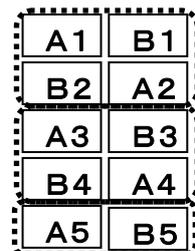
「政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる」⑧

この時間は、前半30分で学び合いグループ学習をし、後半の15分では一斉学習によるまとめを行った。学び合いでは、AグループとBグループの課題について図1の座席になり、ペアを基本としながら、周りの誰からも教えてもらえるように工夫した。

学び合いグループでは、児童は自分がまとめたワークシートを見せながら説明を行った。聞き手は、説明を書き留めるだけでなく、疑問を感じたら、必ず「どうして、そうなの?」「どこに書いてあるの?」という質問をして、納得いくまで教えてもらうように指導した。それでも疑問が残るときは教師に質問するようにした。

Aグループが政府の改革に不満をもつ人々の行動について、自由民権運動の説明では、図1のA1

図1 学び合いグループ



とB1のペアでの学び合いが資料10のように行われ、分からないことを解決しようとしていた。授業後の振り返りでは、児童B1は、「授業では、少し疑問があってもすぐ挙手をして聞くことができないけど、友達同士だといつもより積極的に質問ができた」と感想を述べている。また、質問された児童A1は、「自分は分かっているつもりだったけど、質問されるともう一度考え直したり、別の方向から自由民権運動を見直したりするきっかけとなった」と述べている。

資料10 学び合いグループでのペアの話し合いA(一部)

- | | |
|----|--|
| A1 | 自由民権運動が、全国に広がりました。 |
| B1 | 自由民権運動が広がるって言ったけど、これってなぜ広がったのかな。 |
| A1 | 大名がいなくなったから、広がりやすくなったんだよ。 |
| B1 | 四民平等になったからってことかな。 |
| A1 | 違うよ、廃藩置県が行われて、大名がいなくなったから広まりやすくなったんだ。政府の考えも広がりやすくなったから、政党を作るのもすぐに全国に広まったんだよ。 |
| B1 | そうか、そうか。 |
| A1 | あ、やっぱり四民平等も関係あるかも。 |
| B1 | そうだよね。平等になって武士がいなくなって大名がいなくなったんだよね。 |
| A1 | そうか、それで自由で平等になったから、自由民権運動とかもできたんだね。 |

後半の一斉学習では、教えたAグループの児童は教師による質問に答えることができず、教えられたBグループの児童のみが答えられることとした。教えられた児童がしっかりと答えると、教えた児童も喜んでいる様子が見られ、学び合いグループの学習によって知識の共有ができた。

(8) 調べるⅡ(問題追究)【学び合いグループ】

「大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色、議会と選挙制度について調べる」⑨

第9時の学び合いでは、Bグループが課題について調べたことをAグループに説明した。国民派が作成した憲法草案と政府派が作成した大日本帝国憲法のまとめの文章にある最後の「国民派のつくった憲法と比べると、()」の()には、「進歩的だ」と書いていた。学び合いの時には資料や教科書をしっかりと見直し、資料11の話し合いの中で国民派の作成した憲法草案と政府派が作成した大日本帝国憲法との違いをきちんと理解し、教え直していた。授業後の児童A2の感想には「地域の若者が学習会を開いてまとめた五日市憲法は、とても進歩的で基本的人権についても書いてあるものだと分かった」とあり、話し合い後に資料を見直し、確実に理解していたことが分かる。

資料11 学び合いグループでのペアの話し合いB(一部)

- | | |
|----|--|
| A2 | ここには、「進歩的な憲法」が入るよね。 |
| B2 | 教科書で憲法草案と大日本帝国憲法を比べたら、政府派が作った大日本帝国憲法は天皇中心に書いてあるって分かったよ。 |
| A2 | 「天皇」「天皇」「天皇」天皇は神だと書いてあるよね。そこが進歩的ってことじゃないの。 |
| B2 | いや、憲法草案には基本的人権が書いてあって政府の憲法より進歩的って書いてあるから、天皇中心と国民中心になっていて比べると、そこが違うと思う。 |
| A2 | 進歩的なのは憲法草案ってことかな。 |
| B2 | そうそう、だから「大日本帝国憲法は天皇中心の憲法だった」が入る。 |
| A2 | そうか、人権が書いてある方が進歩的なんだ。 |
| B2 | 天皇中心は、大名中心とあまり変わらないから、古いってことじゃない。 |

(9) まとめる 「明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考え、政府の立場と国民の立場を比較しながら考えをまとめる」【個人】⑩

まとめとして明治政府の政策の見直しを行った。政策のメリットやデメリットを今まで学んだ資料を基にもう一度考え直し、見直す必要があるのかなのか、あるならば、どんな見直し案なのかを示すことにした。また、メリットやデメリットについては、どの資料を基にした意見なのか、自分で考え、予想した内容なのかをワークシート⑧(資料12)に明記させた。

第5時での経験からメリットとデメリットは、しっかりとまとめられていた。見直し案を考える際には、その政策に賛成か反対かをはっきりと示し、見直す理由や見直さない理由も示すようにさせた。

としたことで、負担ばかりが国民にいつてしまった。もっと時間をかけてゆっくりと富国強兵を進めるといいと思う」と述べた。そして、「国民に集めたお金を返す」「ゆっくりと政策を進める」という二つの見直し案が出た。また、見直さないという案も出た。

議論をする目的は、各政策にはよい面と悪い面、政府派としての考えと国民派としての考えなどの多面性を友達の意見から見いだすことであり、どの見直し案が一番いいのか考えることではないので、賛成派の考え、反対派の見直し案が出たところで、次の政策について議論をした。

「四民平等」では、賛成派も反対派も国民に自由が増えたことをメリットとし、差別が残ったことをデメリットとした。その中で、見直し案として、「今まで差別されてきた人々を助ける政策も行う」「今までの差別をこの先絶対にしないという法律を作る」という意見と、「教育の力で差別をなくすようにすれば差別がなくなると思う。今の日本でそれが証明されていると思う」という意見が出た。「今の日本で証明されている」ということについては、もう一度どんな意味なのか問い直すと、「自分たちは差別をしないように教育をされていて、実際、今の自分たちは差別されていないから、教育の力で差別をなくせると思う」と答えた。

「大日本帝国憲法」では、メリットとして「欧米のような近代的な国の体制ができた」「天皇によって国民が一つにまとまる」、デメリットとして「天皇中心で、国民の権利を制限」「選挙が不平等」という意見が出た。また、「国民が天皇に意見が言えるようにする」「国民の権利を制限しない」「ちゃんと国会を開いて国民みんなで議論して決める」という見直し案が出た。そして、賛成派の意見として、「アジアで初の近代的な国の体制をつくった憲法だから賛成だ」が出た。

三つの政策について、違った立場から意見が出たので、板書を見てもう一度自分とは違う意見で納得できる意見があればワークシートに記すように促した。本時の「資料から読み取る」「自分の考えを発表する」「友達の意見を聞く」という展開の中で、児童はメモを取っていたので、板書を見返しながら、納得した意見をワークシートにしっかりと書き込むことができた。

納得できた他の意見について発表し合い、資料 13 のように児童の意見に対して教師は繰り返し要約して話したり、資料プリントなどの関係資料を示し説明を付け加えたりして学習をまとめた。

資料 13 納得できた友達の意見についての発表

C 1	富国強兵について、この政策があったから西南戦争をしずめることができたところ。
T	あなたは反対だった？
C 1	いいえ、賛成でした。でも西南戦争をしずめたことまで考えていなかったから・・・
T	納得できた？
C 1	はい、すごく納得できました。
C 2	四民平等で私は賛成ですが、身分の違いや差別が残ったというところで、職や結婚が選べるならあった方がいいと思ったけれど、「差別が残った」と聞いて、やっぱりそれはだめだなと思った。
T	もともと賛成で、自由ができていいじゃないかと思ってたけれど、やっぱり差別が残ったと聞いて考えが変わった。特に、今まで差別されて苦しんできた人々の差別が残ったのですよね。資料プリントBを見ましょう。百姓や町人などからも差別された 1.5%の人々は、平等とはほど遠いものがあったね。
C 3	大日本帝国憲法について、私は反対だった。デメリットが多いし、やっぱりひどいなあと思っていたのだけれど、メリットについて、「アジアで最も進んだ国になったとか初めてだ」と聞いてとても納得できた。
T	学び合い授業でみんなで話し合ったときも、こんな憲法全くだめだって言っていたり、本気で国民の意見を聞く気があったのかという意見があったりしたよね。みんなデメリットで盛り上がったよね。でもアジアで最も進んだ国になれたと聞くと納得できたということですね。

最後に、6年生でもデメリットが考えられる政策をなぜ明治政府は押し進めたのかについて、ペアで考えた。すると、ほとんどの児童から、「不平等な条約を改正するため」「近代的な国をつくるため」という二つの理由が出てきた。

そこで、単元を貫く学習問題「明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか」について、いくつかの政策名と「国民」「政府」「外国」のキーワードを使って文章でまとめることにした。多くの児童は、欧米に負けない国づくりを目指した当時の人々の思いを表現した上で、p. 14 の評価事例のように明治政府の政策について説明ができた。

6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例 (N=39)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
②	<p>明治政府はどのように国づくりを進めたのか予想しよう。</p> <p><A判定> 明治維新によりおこった文明開化から、明治政府の行ったことを<u>急激な西洋化と関連付けて</u>予想し、変化の理由を考えて表現している。</p> <p><B判定> 明治維新によりおこった文明開化から、明治政府の行ったことを予想し、変化の理由を考えて表現している。</p> <p>(例)A 30年間で自分たちと同じような生活になっているので、明治政府は外国の進んだ文化をまねしたのだと思う。</p> <p>A 文明開化によって社会が大きく変化していた。四民平等の他に何をしたら、あんなに変わるのか知りたくなった。西洋化したのは、強い外国の指導者が日本に来たからだと思うので調べたい。</p> <p>B 日本橋周辺の町以外でも変化の大きな町があれば調べたいと思った。</p> <p>B 牛乳が外国の物だということを知り驚いた。外国から他にもどんな物を取り入れたのか調べたい。</p> <p>B 四民平等で本当に武士がいなくなってしまったのか調べたい。</p> <p>C 服装が変わっていて驚いた。</p> <p>-----> <Cを支援する手だて> 明治時代の変化を再度見せ、疑問に思うことから予想させる。</p>	3	34	2
⑤	<p>明治政府の政策について考えよう。</p> <p><A判定> 欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策だけでなく、<u>その意図や急激な改革による人々の不満について</u>も考え、自分の意見として表現している。</p> <p><B判定> 欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策について、自分の意見として表現している。</p> <p>(例)A 反対です。なぜなら、地租改正は国の財政が安定するというメリットがありますが、豊作でも不作でも同じ税を納めなくてはいけないので、国民にとっては苦しいというデメリットがあります。不平等条約改正のためであっても、国民のための政府なので国民にとって苦しい政策には賛成できません。</p> <p>A 賛成です。例えば廃藩置県では全国に政府の方針が伝わりやすくなり、殖産興業では、工業を盛んにすることで豊かな国ができていきます。地租改正で税金が増えたり、徴兵令で軍隊に行ったり、国民は大変な思いをしたと思うけれど外国に負けない国づくりができるので賛成です。</p> <p>B 賛成です。富国強兵によって国が豊かになり、軍隊も強くなるので、外国に負けない国づくりができて不平等条約が改正できるようになるからです。</p> <p>B 反対です。四民平等では、職業を選ぶことができ、誰とでも結婚できる自由があったけれど、国民は全く自由にならなかったのが苦しくなっていくばかりだからです。</p> <p>B 賛成です。どの政策も外国に負けない強い国にして不平等条約を改正するために必要だからです。</p> <p>C 反対です。どの政策も国民にとって苦しいものばかりだからです。</p> <p>-----> <Cを支援する手だて> 「政策名と政策の説明」「メリットとデメリット」「自分の考え」を個別に確認する。</p>	15	20	4

⑪	<p>明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか。</p> <p><A判定> <u>欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願い</u>や明治政府が進めたいいくつかの政策について、それらを関連付けながら<u>政府の立場と国民の立場から捉えて</u>自分の考えを表現している。</p> <p><B判定> 明治政府が進めたいいくつかの政策について、いくつかを取り上げ、それらを関連付けながら自分の考えを表現している。</p> <p>(例)A 政府は地租改正を行うことで税金を安定して集め、そのお金で富国強兵に力を入れ、外国に負けない国づくりを進めた。しかし国民にとっては不作でも決まった額の税金を納めなければならないので大変だった。</p> <p>A 政府は大日本帝国憲法をつくり、天皇中心の強い国づくりを進めた。国民や自由民権派はもっと民主的な憲法にしたかっただろうが、外国に負けない強い国にして不平等条約を変えるためには仕方がなかったと思う。</p> <p>B 政府は徴兵令を出すことで、国の力を強くしたが、国民にとっては、地租改正で負担が大きくなり大変だった。</p> <p>B 政府は、地租改正や徴兵令などの政策を出して外国に負けない国づくりを進めた。国民は喜んで税金を納め、兵士となった。</p> <p>B 政府は四民平等の政策をだし、国民が職業や住む場所を選べるようにした。</p> <p>C 政府は自由民権運動によって、大日本帝国憲法をつくった。</p> <p>----- <Cを支援する手だて> 政策名とその政策についての説明を確認し、政府の立場で考えることと国民の立場で考えることを再度いっしょに行う。</p>	8	26	5
---	---	---	----	---

★記録に残す評価

7 単元定着後評価

単元終了時に事後テストとその1か月後に保持テストを25分間で行った。それぞれ予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にさせず、必要な語句は問題文の中に提示し、選択させて文章表現をする記述式のテストで実施した。なお、ループリックのB1からB3まではB判定とした。

<p>設問① 明治政府の行った国づくりについて、いくつかの語句を説明しながら関連付けて書きなさい。その際、「政府」と「国民」のそれぞれの立場から述べなさい。</p> <p><語句> 廃藩置県 四民平等 地租改正 学校令 徴兵令 殖産興業 富国強兵 不平等条約 勝海舟 大久保利通</p>
--

★ 使用したループリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=39)	
		事後テスト	保持テスト
A	5点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	14	21
B1	3～4点の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	10	1
B2	3点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述しているが、一方の立場の論述が間違っている。	7	13
B3	3点以上の語句を使用し、一方の立場から論述していて内容も正確である。	1	0
C	2点以下の語句を使用し、一方の立場から論述しているか、間違っている。または無回答である。	7	4

★ 解答例

A ペリー来航によって、結んでしまった不平等条約を改正するため、政府は、政府の方針がすぐに伝わるように役人を送り、藩をやめて県をおく廃藩置県を行い、四民平等では、士農工商を平民とすることで平等にし、地租改正では、土地の税を改め、財政を安定させた。国民は、四民平等で職業の自由を得たり、殖産興業で工業が発展し職を得たりした人もいたけれど、本当の平等でなかったり、税や労働など、負担が増えたりするものばかりだった。

A 政府は外国と結んだ不平等条約改正のため、大久保利通を中心に富国強兵をスローガンに政策を進めた。国を豊かにするために、財政の安定と経済力をつけそれを軍事力につかう。徴兵令で、20歳の男子を3年間兵士して強い軍隊をつくる。また、学校令を出して教育の力でも国を変えていこうとした。国民にとっては政府の方針は苦しいものばかりで、富国強兵では、軍に人手をとられて、学校令で子どもを学校に行かせるとまた人手が減り、学費も高く税金も高く、負担が増えて苦しむことになった。

B1 政府は、富国強兵をすることにより、国が豊かになり、強い軍隊がもてるようにして、不平等条約の改正に力を入れた。しかし、国民にとっては、徴兵令では兵士にならなくてはいけないため、負担が増え、地租改正では不作の年でも同じ額の税金を納めなくてはならず、苦しむものだった。

B2 政府は、不平等条約の改正のために廃藩置県で藩を大名が治めるのではなく、県を役人が治めるようにして、命令が伝わりやすくし、四民平等を行い、武士を平民としたが、国民は平等にならず全くよいことがなかった。

B3 大久保利通らは、外国に負けない国づくりを目指し、殖産興業で官営工場をつくり、工業を発展させて、地租改正して税金を安定して集められるようにした。それらのお金を使い、徴兵令で人を集めた軍隊を強くしていった。

C 政府は、廃藩置県や殖産興業や地租改正や不平等条約などの政策を行った。

設問② 政府に不満をもつ人のとった行動とそれに対する政府の対策について、人物と関連付けて説明しなさい。その際、「政府」と「国民」のそれぞれの立場から述べなさい。

<語句> 大日本帝国憲法 自由民権運動 西南戦争 国会開設 選挙
板垣退助 伊藤博文 西郷隆盛 天皇 憲法草案

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=39)	
		事後テスト	保持テスト
A	5点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	10	16
B1	3～4点の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	5	3
B2	3点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述しているが、一方の立場の論述が間違っている。	11	17
B3	3点以上の語句を使用し、一方の立場から論述していて内容も正確である。	6	0
C	2点以下の語句を使用し、一方の立場から論述しているが、間違っている。または無回答である。	7	3

★ 解答例

A 国民の生活が苦しかったため西郷隆盛を中心に武士だった人たちが集まり、西南戦争を起したが、結局、近代兵器をもつ政府軍に負けた。このことから武力から言論へと国民の行動は変わり、板垣退助が自由民権運動を進めた。政府は、国民の多くの声を抑えきれず、国会開設を約束

し、伊藤博文は大日本帝国憲法をつくった。

- A 政府は、言論での行動も厳しく取り締まったが、板垣退助らの自由民権運動は日本中に広がった。自由民権派に憲法草案をつくらせたが参考せず、伊藤博文はドイツの憲法を参考に天皇が中心となる大日本帝国憲法をつくった。国民は取り締まりにも負けず、自由民権運動を続け、選挙によって、政治に参加する権利を得たが、国民の1%程度の人にしか選挙権がなかった。
- B1 政府に対して西南戦争を起こしたが負けたことで、武力による行動ではなく自由民権運動をするようになった。伊藤博文は大日本帝国憲法をつくった。
- B2 板垣退助を中心に自由民権運動を行い、国会を開く約束をして、憲法草案を作った。政府は、憲法草案を基に大日本帝国憲法を作った。
- B3 政府は伊藤博文にドイツの憲法を学ばせ、大日本帝国憲法を作り、国会を開き、天皇中心の国づくりを進めた。
- C 伊藤博文は、自由民権運動を進め、憲法草案や大日本帝国憲法をつくった。

8 成果と課題

(1) 成果

① 資料を基に考える力の育成

歴史的事象を違う立場から捉えるために、政策のメリットとデメリットをまとめさせた。その際、必ず「証拠があるか」と聞きながら資料を基に考えさせたので、児童は、「資料から事実を読み解き考える」「自分で考え予想したことから資料を探す」という二つの方法で考えを確かめることができるようになった。特に、資料が見付からない場合には、何度も資料を探す中で、「資料をしっかりと見直す」「友達と相談する」「考え直す」ことを常に行うようになり、知識の定着、違う立場から思考する方法の獲得へと進み、思考し判断する力の育成につながっていったと考える。

② 教え合う、学び合う児童の育成

一斉教授型の授業では、「教師＝教える人、児童＝教わる人」という関係がある。教師の積極的な教授により、児童は意欲がなくても学ぶことになる。しかし、「学び合い」の授業形態では、一人一人が教えたり、教わったりすることの連続であるため、児童は積極的に学ばざるをえない状況になる。児童同士の間人間関係を見てみると、「人間関係がよくないと学べない」→「人間関係をよくしようとする」→「教え合い学び合うことができる」→「人間関係がよりよくなる」という好循環にもつながった。昨年度の課題として意欲のない児童が含まれるグループでは、学び合いが進まないということがあったが、座席の工夫で改善した。さらに、歴史に関心の薄い児童にも資料の工夫によって興味をもたせることが可能であることが分かった。

③ 知識を基に関連付けて表現する力の育成

単元定着後の評価において、1か月後の保持テストは結果がよかった。B2判定となった17人の児童のほとんどが5点以上の語句を正確に説明しており、たくさん書く中で間違いが一つあったためにB判定になる児童もいたが、知識の定着はしっかりとできており、それらに関連付けた表現ができていることが分かった。

(2) 課題

① 話型の指導

社会科だけでは、話型の定着が図れない。ワークシートの工夫によって社会的事象を違う立場から捉えられるようになったが、それを人に伝える表現までは十分ではなく、日常的に話型を指導する必要性を感じている。

② 学習形態の更なる工夫による協同学習

ペア、グループでの協同学習で考えを深めることはできるようになった。その考えを一斉授業の中で十分に共有できなかった。時間が足りないこともあるが、うまく学習形態を工夫し、学び合いによる深まりのある思考の共有化を図りたい。

【別資料】学習プリント（A～F）

第1時「江戸時代と明治時代の日本橋周辺」

学習プリントA



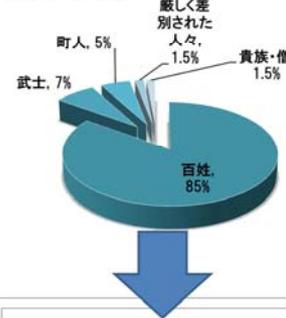
約35年間で変化した。



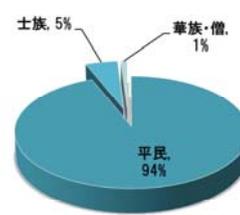
第2時「江戸時代と明治時代の身分制度の比較」

学習プリントB

①江戸の身分



②明治の身分



④福沢諭吉



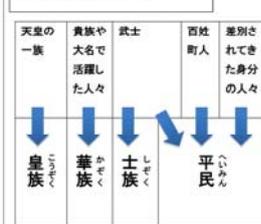
大分県の身分の低い武士の家に生まれた。身分や家柄で将来が決められてしまう世の中に疑問をもち、長崎や大阪で西洋の学問を勉強して力をつけた。

日本が開国すると、欧米に行つて自分の目で見、その生活や文化や考え方を学んだ。そして、西洋の様子を本にして、人々に伝えた。

《学問のすゝめ》
「天は人の上に人をつくらず、人の下の人をつくらず」という言葉で始まって有名だが、その後には続く言葉が、本当の意味で学問をすすめる内容となっている。

「人間はみな平等である。学問をすることで国民は平等であること知り、自立することができる。国民の自立により、国も自立できる」と説いている。

③明治の新しい身分



第3時「明治維新(紙芝居資料)」

学習プリントC

日本人から見た黒船



不平等条約



イギリス兵に占領された長州藩の下関砲台



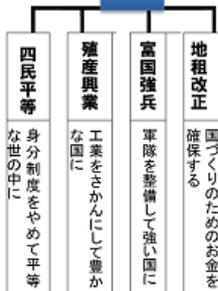
第4時「明治政府の改革の意図」

学習プリントD

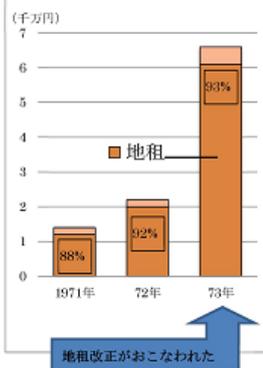
①明治政府の改革

不平等条約の改正

西洋に追いつく



②地租改正による財政の安定



第6・7時 「憲法草案」

学習プリントE

民間の憲法案「憲法草案」

1880年、どんな憲法を作るべきか、政府だけでなく民間からも憲法草案を持ちよるように決定された。現在までに60種類ほどの草案が発見されており、政府案よりも進歩的なものが数多くあった。

名称	主に書いた人	内容
日本国憲法草案 (五日市憲法草案)	千葉卓三郎	日本国民は法律の前では平等の権利を持っている。
日本国憲法按	植木枝盛	政府が憲法を無視するなら、国民は抵抗する権利をもつ。
日本憲法見込案	立志社	基本的人権を保証する。

第6・7時 「板垣退助と伊藤博文」

学習プリントF

	板垣退助	伊藤博文 (政府)
	土佐藩 (高知県) の武士の家に生まれ、倒幕運動に参加する。政府の役人になるが、大久保利通らと意見が対立して1973年に役人をやめた。	長州藩 (山口県) の農家に生まれ、倒幕運動に参加する。大久保利通らと欧米諸国を視察し、大久保の死後、政府の中心的存在に。
歴史の流れ	考え 政治とは、一部の人間や役人だけですすめるのではなく、欧米のように憲法を作り、議会を開き、国民の意見を聞いておこなうべきだ。	今は、国民に不満があっても、天皇のもと、政府の役人が中心になつて、富国強兵の国づくりを強くすすめる必要がある。今すぐ、国会を開くと、かえって政治が混乱してしまう。
	行ったこと ○政府に国会を開くようにもとめて、全国の自由民権運動を広め指導した。 ○演説会や新聞、雑誌を通じて、国民に自分たちの考えをうたえた。 ○国会を開くことを求める多くの署名を集め、政府に提出した。	○政府への不満を武力で解決しようとする士族が西南戦争を起こしたとき、軍隊の力でおさえた。 ○政府を批判する演説会や新聞記事などを、きびしく取りしまった。
	自由民権運動が高まると、政府は、1881年(明治14年)に、10年後に国会を開くことを約束した。	
	行ったこと ○政府が国会開設の約束をする、政党をつくって、国会開設にそなえた。また、様々な立場の人たちが、議会政治のもととなる、憲法の草案をつくった。	○ヨーロッパへ渡り、天皇中心のドイツの政治や憲法を学んだ。 ○帰国した伊藤は、内閣の制度をつくり、初代内閣総理大臣となり、大日本帝国憲法をつくりあげた。

【別資料】 自作紙芝居「明治維新への道のり」

(第3時 資料)

① 明治維新への道のり

ときは、西暦 1853 年。160 年前。
江戸の世の中も 250 年ほど続き、
もちろん鎖国もずっと続いていたそ
んな時代・・・

ロシア、イギリス、アメリカなど
という国の船が日本の近くに来ること
もちろほら・・・

江戸幕府は外国船打ち払い令など
の命令を出して、必死に鎖国を続け
ていました。・・・すると、
とつじよ、浦賀（神奈川県）の海に
現れた四つの黒い影・・・

（左に少し抜きながら話す）
何に見える？レーザービームかな？
（半分抜く）

大砲の数も射程も半端ではない
2キロ先まで飛ぶ大砲が、
4隻で合計 63 門

② その大砲がこっちを向いて、に
らみつける。

船の大きさ全長約 80 m
江戸の巨大船の約 4 倍

巨大どころではない・・・黒船だ。この 4 隻の軍
艦には、いったい誰が乗っているのだろう
（左に抜きながら、紙芝居を立てる）中から出て
きたのは・・・

③ この男、天狗か、お化けか、宇宙人か・・・
これを見ると、当時の人々が、どれだけおそれ
ていたのか、よく分かりますね。

彼の名は、ペリー。アメリカ大統領の手紙を持
って、日本に開国を迫りに来た。

江戸幕府はどうしたと思う??
すぐ、返事できたと思う? 200 年以上続けてきた
鎖国だよ。どうしよう?

アメリカは一年待ってくれるって・・・
すると、半年後、(突然、大きな声で)

ドーン (③の紙芝居を上に入れて、黒船を見せる) と、大砲が鳴ったとか鳴らな
かったとか、いろいろ噂はあるけれど、とにかく 7 隻でやって来た。

①

明治維新への 道のり

②

「日本人から見た黒船」 の絵

(学習プリントC 参照)

③

「日本人から見た ペリー」の絵

(学習プリントC 参照)

④⑤ 幕府は開国だけでなく、二つの不平等な約束もしてしまいました。

どんな約束かというところ・・・

(④⑤の紙芝居を順に出して)

- ・ 治外法権を認めている
- ・ 関税自主権がない

そうですね。

不平等条約によって、人々の生活が苦しくなる。幕府のせいで、そんな幕府を見て、

「戦ってやる」

っていう藩だってあった。

それが、長州藩、今の山口県。すると・・・

⑥ 自慢の砲台でやっつけることができるって思ったんだよね。

でも、あっという間にイギリスやアメリカに負けてしまいました。

外国を倒すのは今のままでは無理だ。

今のままでは・・・

「日本はもっと強い国にならなくては」

でも、あの幕府では、国ごとやられてしまう。

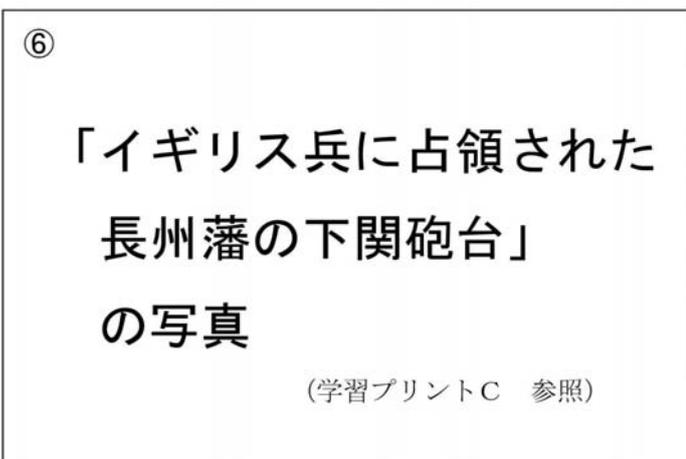
「よし、幕府を倒そう！」

江戸幕府のままでは国が倒れる。新しく、もっと強い国づくりをという考えをもつ人々が増えました。

活躍した人物3人は誰ですか？

- ・ 西郷隆盛 (薩摩藩)
- ・ 大久保利通 (薩摩藩)
- ・ 木戸孝允 (長州藩)

そして、



⑦ 修学旅行でも行った京都の二条城。

江戸幕府の将軍の徳川慶喜は、朝廷に政権（政治をする権利）を返すことにしたことを大名やこれに代わる重臣たちを集めて伝えました。

江戸時代は 260 年、武士が世の中をまとめるようになって 700 年、武士の時代が終わる。

そんな歴史の大きな 1 ページがまさにみんなが見学したあの部屋で行われたのです。その様子が再現されていましたね。

⑦

「二条城での大政奉還」 の絵

(学習プリントC 参照)

ところで、そんなに簡単に終わることができるだろうか。700 年間、武士が支配していた世の中です。・・・武士は納得できるのだろうか。

江戸城に集まる旧幕府軍。みんな、もちろん武士です。

それを取り囲む新政府軍。江戸を完全に包囲しました。

新しい政府がつくった軍隊です。もちろんこちらも武士達です。

明日にも新政府軍は、江戸の町に攻め入ってきます。

260 年間、日本の中心で、町民文化が栄え、世界に誇ることができる大都市、江戸。

明日にもおこる戦いは、江戸を支えた武士同士が、江戸を壊しながら戦うのだろうか。

⑧右 旧幕府軍、勝海舟

左 新政府軍 西郷隆盛

二人は、何を思い、向き合っているのだろう。

次の日、旧幕府軍は、江戸城の明け渡しを約束し、江戸幕府のシンボル江戸城は、血を流すことなく、政府軍へ明け渡されたのである。

本当に江戸の時代が終わったのである。

⑧

「新政府軍の西郷隆盛と 旧幕府軍の勝海舟の 話し合い（江戸城無血開城）」 の絵

(学習プリントC 参照)

旧幕府も新政府も同じ思いをもっていたからこそ戦わずにすんだのだろう。

二人がともに思ったことは何だったのだろう。

勝海舟と西郷隆盛、それぞれの思いをワークシート②の吹き出しに書きましょう。

それから、二人がともに思い、戦いを終わらせ、江戸時代を終わらせた、二人に共通する思いを考えてワークシート②のハートの中に書きましょう。